

■コメント

1. 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

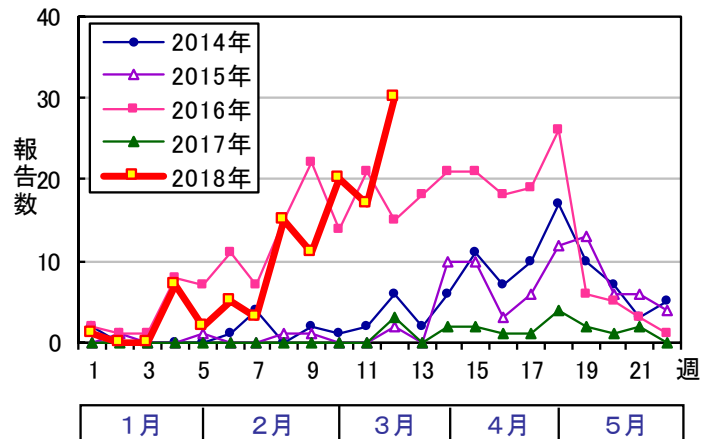
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は、基幹定点から30人の報告があり、前週と比べて増加しました。また、市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、第12週は24人報告されています。

2月中旬以降増加しており、第11週にはロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。オムツや吐物の適切な処理、手洗いを徹底するなど、感染予防対策を心がけましょう。

2. インフルエンザ

定点当たり4.27人の報告があり、前週と比べて減少しました。流行は終息傾向にあります。引き続き、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策を心がけましょう。

基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)間	発生記号
小児科	インフルエンザ	158	4.27	8.20	▲	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.46	□
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.46	□	眼科	RSウイルス感染症	14	0.58	0.10	□
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	2.25	2.26	□		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	□
	感染性胃腸炎	219	9.13	7.34	▲	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.38	□
	水痘	4	0.17	0.60	□	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	□
	手足口病	2	0.08	0.29	□		無菌性髄膜炎	-	-	-	□
	伝染性紅斑	-	-	0.13	□		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	□
	突発性発しん	8	0.33	0.28	□		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	□
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04	□		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	30	4.29	▲	▲

急増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい □ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	33	男性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	1	男性(60歳代)
5	アメーバ赤痢	1	2	女性(30歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	3	男性(20歳代)・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	男性(60歳代)
5	梅毒	1	25	男性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス) 感染性 胃腸炎
報告数	広島市	756	5	70	235	4	5	2	1	2	1	10	1	2	-	-	-	-	15
	第8週	557	4	84	253	4	2	1	8	1	1	12	-	7	-	-	-	-	11
	第9週	359	2	76	281	3	2	-	7	-	1	6	1	2	-	-	-	-	20
	第10週	281	3	60	329	5	2	-	7	1	2	17	1	1	-	-	-	-	17
	第11週	158	8	54	219	4	2	-	8	-	3	14	-	3	-	-	-	-	30
定点当 たり	広島市	21.00	0.21	2.92	9.79	0.17	0.21	0.08	0.04	0.08	0.04	0.42	0.13	0.25	-	-	-	-	2.14
	第8週	15.05	0.17	3.50	10.54	0.17	0.08	0.04	0.33	0.04	0.04	0.50	-	0.88	-	-	-	-	1.57
	第9週	9.70	0.08	3.17	11.71	0.13	0.08	-	0.29	-	0.04	0.25	0.13	0.25	-	-	-	-	2.86
	第10週	7.59	0.13	2.50	13.71	0.21	0.08	-	0.29	0.04	0.08	0.71	0.13	0.13	-	-	-	-	2.43
	第11週	4.27	0.33	2.25	9.13	0.17	0.08	-	0.33	-	0.13	0.58	-	0.38	-	-	-	-	4.29
全国	第12週	12.05	0.27	2.64	5.00	0.26	0.13	0.06	0.35	0.01	0.13	0.41	0.01	0.53	0.01	0.02	0.12	0.02	0.28
	第11週	8.65	0.30	2.69	5.01	0.24	0.15	0.06	0.36	0.01	0.14	0.44	0.02	0.54	0.01	0.03	0.20	0.01	0.41

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

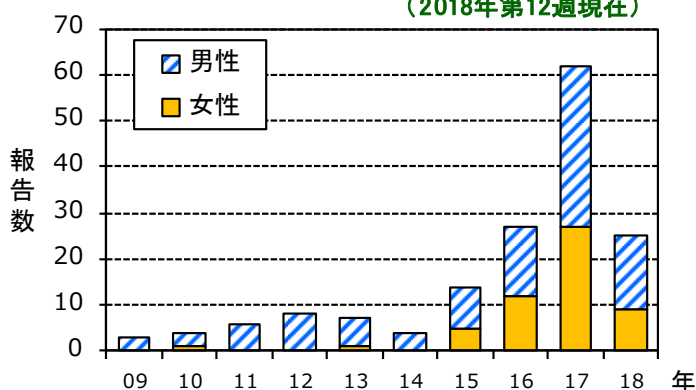
(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	3	男	2018/02/13	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.6) 鼻炎	2	女	2018/02/14	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における梅毒の報告状況

年間報告数の推移
(2018年第12週現在)



第12週に1件の報告があり、今年の累計は25件(昨年同時期の2.5倍)となりました。患者の年齢は20~40代が全体の88.0%を占め、男性では30代、女性では20代が最も多くなっています。

梅毒は、性的な接触(感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触)により感染します。感染後、感染部位にしこりができたり、リンパ節が腫れたり、全身に「バラ疹」と呼ばれる赤い発疹が出るなど、様々な症状が現れ、症状が軽快しても、治療をしない限り完治はしません。

感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。また、梅毒に感染していたとわかった場合は、周囲で感染の可能性がある方(パートナー等)も検査を行い、必要に応じて、一緒に治療することが重要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第12週(3月19日~3月25日)